

勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

	大項目	関係者	項目	2021年度末の状況	2022年度目標	2022年度目標：具体的内容	2022年進捗状況	2022年度末評価
(ア) 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容	診療支援	看護師	初診時の予診の実施	・事務が初診問診表の記入を患者へ依頼 記入された問診表は、診療アシスタント・看護師が確認 ・一般内科でAI問診導入 ・循環器内科でAI問診導入	前年度目標の継続とAI問診導入	・前年度目標の継続 ・AI問診導入	・前年度目標の継続 ・AI問診、多数展開となっていない	・MIA項目をDA課実施項目に揃え標準化を図った ・問診票の電子媒体化に向けて始動した
		看護師 検査技師	静脈採血等の実施	外来・入院患者の採血を看護師と検査技師が実施	前年度目標の継続	前年度目標の継続	・看護師は引き続き実践している	・看護師は引き続き実践している
		看護師	静脈注射又は留置針によるルート確保	外来・入院患者のルート確保を看護師が実施	前年度目標の継続	前年度目標の継続	・看護師は引き続き実践している	・看護師は引き続き実践している
		医事サービス課	緊急入院フローの整備	・緊急入院指示のオーダー化と全科統一 ・緊急入院フローの見直しおよび問題点洗い出し	緊急入院フローの安定稼働	・緊急入院フローの整備と標準化 ・多職種への周知徹底 ・問題点に対する改善	・救命救急センターから発生する緊急入院は、フローを標準化して安定稼働できている。今後は、外来から発生分についても整備・標準化を行い、全診療科の集約を目指していく	・救急発生の緊急入院フローについては、整備完了
		看護師 診療アシスタント 医師事務作業補助者	検査手順の説明の実施	外来および入院患者の検査手順を看護師、診療アシスタント、医師事務作業補助者が実施	前年度目標の継続	前年度目標の継続	前年度目標の継続	各診療科で実施している
		薬剤師	服薬指導	・薬剤管理指導件数増加（前年比5%増）	薬剤管理指導の充実	・増加件数の維持 ・患者サービスの質向上	計画継続中 ・服薬指導介入割合は昨年度から低下なし	病棟薬剤管理指導件数の月別平均件数 2022年度：393件 2021年度：4020件
		薬剤師	持参薬登録および処方支援の実施	・入院患者への処方支援対象の拡大 ・退院時処方支援開始 ・注射薬オーダー処方支援開始 ・CROSSオーダー処方支援開始	処方支援の拡充	・入院患者への処方支援対象の拡大 ・退院時処方支援の拡大 ・注射薬オーダー処方支援の拡大 ・CROSSオーダー処方支援の拡大	計画継続中	処方支援件数の月別平均件数 2022年度：4874件 2021年度：4300件
		医師事務作業補助者	診断書等の文書作成補助	・文書作成支援率：71.8%（2020年12月末時点） ・精神科→文書支援拡大（通院歴証明） ・小児科→文書支援拡大計画を現在遂行中 ・産婦人科→文書支援拡大（不妊治療証明）	文書作成支援率維持	文書作成支援率 67%維持	文書作成支援率 67%維持継続	22年度支援率72.1% （歯科文書、自賠責文書の支援拡大）
		医師事務作業補助者	外来診療支援 （代行入力、各種説明、案内等）	・麻酔科→麻酔法説明項目拡大開始 ・消化器内科（肝）→問診票改訂、予約取得継続 ・循環器内科→紹介状転記入力（初診時記録）、1室代入力業務拡大、外来指示書作成使用開始・継続 ・整形外科→代行入力開始、外来指示書作成使用 ・外科・心臓血管外科・呼吸器外科 →外来アシスタントにて代行入力業務開始 ・腎臓病内科→透析患者の検査オーダー入力業務を医師から移管	安定した業務の継続	・対象外来の支援継続 ・代入力者の育成	9月より妊婦検診1枠 診療アシスタントから医師診療支援課へ代行業務シフト	・代入力者の育成 ・IT活用し事前準備の時間短縮 ・妊婦健診代行拡大
		医師事務作業補助者	診療記録への代行入力	7診療科にて入院診療計画書を、4診療科にて診療情報提供書を、9診療科にて退院サマリの作成支援を拡大できた。以降、安定した業務支援を継続できている。	業務拡大	診療に関する支援計画を立案し、実行する ・対象科の拡大 ・対象業務の記載範囲拡大（入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリ、説明同意書の作成）	8診療科において、入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリの作成を行っている。	2022年度に開始した8診療科の入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリ作成を継続実施した。
入院医事課	入院時の案内等の病棟における患者対応業務	全病棟で展開 医事職員による入院時オリエンテーションを全病棟で継続実施	安定した業務の継続	前年度目標の継続	前年度目標の継続	・入退院に関する世話の実施 ・電子診療録への患者データベースの代行入力		
医療の質の向上に資する事務作業	医師事務作業補助者	診療に関するデータ整理 院内がん登録等の統計・調査	2021年1月末現在、JOANRIは約1,600件、J-DREAMSは約310件入力完了。業務を確立し、安定した業務支援を継続できている。	安定した業務の継続	・安定した各科DB登録支援 ・医師事務支援計画書に基づく支援拡大	安定的に各診療科のDB登録を行っている。	安定的に各診療科のDB登録を行った。	
	医師事務作業補助者	教育や研修・カンファレンスのための準備作業	継続的に各学会学術集会の開催へ向けて準備を行っている。各種学会学術集会や研究会のオンライン開催も都度、対応できている。	安定した業務の継続	・第12回日本弁膜症学会学術集会（2022年12月開催）の事務局業務支援 ・第67回日本呼吸器学会中国・四国地方会（2022年12月開催）の事務局業務支援	第12回日本弁膜症学会学術集会、第67回日本呼吸器学会中国・四国地方会開催に向け、継続的に事務局業務を支援している。	第12回日本弁膜症学会学術集会、第67回日本呼吸器学会中国・四国地方会を開催した。	
(イ) 医師の勤務体制等に係る取組について	人事・労務管理	人事部	①勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施	定期的に勤務状況を調査	連続当直禁止の徹底	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査
		人事部	②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）	定期的に勤務状況を調査	導入科の拡大	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査
		人事部	③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	定期的に勤務状況を調査	手術前日の当直、夜勤禁止の徹底	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査
		人事部	④当直翌日の業務内容に対する配慮	定期的に勤務状況を調査	翌日午後帰宅の徹底	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査
		ワークライフバランス委員会	⑤交替勤務制・複数主治医制の実施	外科系合同当直の見直し。夜勤導入検討の診療科の拡大（小児科、脳神経外科、循環器内科）	導入科の拡大	新しい勤務体制の導入に関して、ワークライフバランス委員会がサポートを行う	新しい勤務体制の導入に関して、ワークライフバランス委員会がサポートを行う	新しい勤務体制の導入のサポートを実施
		人事部	⑥育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用	継続して短時間勤務の医師を雇用	継続	継続して短時間勤務の医師を雇用	継続して短時間勤務の医師を雇用	短時間勤務の医師の雇用を実施